

● 特徴—洋書の世界

1) 絵本と教科書：エリック・カール、モーリス・センダックをはじめとした有名な絵本作家の作品などを含め、約9,000冊の世界の絵本を所蔵しています。眺めているだけでも楽しめる多彩な絵本の数々は、言葉の壁を越えて、小さな子どもたちをもつ家族にも人気のコレクションです。また、アメリカを筆頭に世界84の国々から集められた色彩豊かな教科書コレクションは10,000冊を超えています。



ブラジルの教科書



イギリスの教科書

2) 各種図鑑：市民に広く利用されるよう、目で楽しめる図鑑を中心にきめ細かく収集しています。植物図鑑は植物全般のほか、シーボルトの『日本植物誌』や『食用キノコと毒キノコのコリンズガイド』『南西部のサボテン』『洋ランのイラスト付宝典』『バラ科』というように、キノコ類、サボテン類、ラン類、バラ類に分類されます。動物図鑑は動物全般の生態や絶滅危惧種、地域ごとの動物、貝類、昆虫、魚類、は虫類、両生類、鳥類、哺乳類と多種にわたるものです。写真や絵画が多く掲載された美しい本が多く、なかでもアメリカの画家であり、博物学者でもあるジョン・ジェームズ・オーデュボンが描いた大判博物画の複製は、生息環境の中で躍動的に描かれた実物大の鳥類の図鑑で、見る者の目をとらえてやみません。



『らん』ハント著



『アメリカの鳥』オーデュボン画

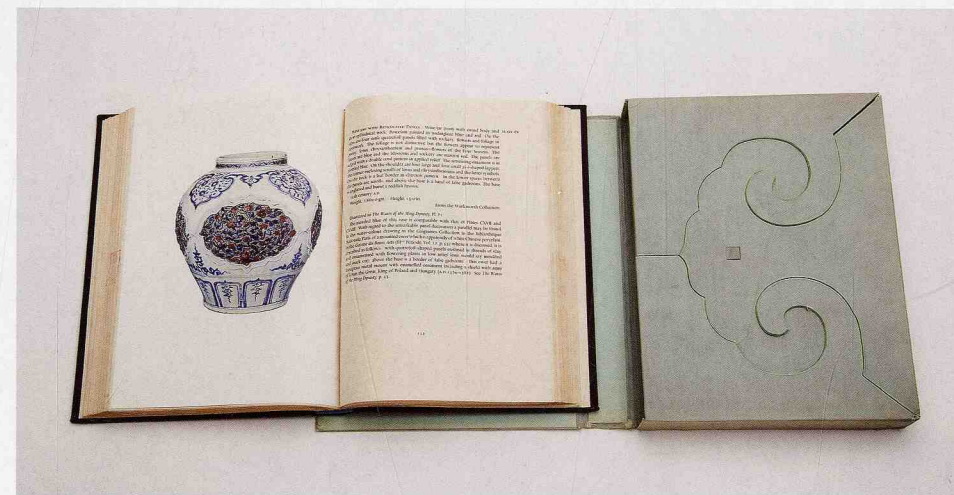


『フランス昆虫図鑑』



『故宮藏瓷』 国立故宮博物院編

3) 美術書：美術・工芸研究と鑑賞のために、14世紀から20世紀に至る個人作品集を中心に収集しています。工芸書のなかでは陶磁器についての名著が多く、イギリスの陶磁器研究家ホブソンの著作は、『中国陶磁器図録』をはじめほぼそろっています。また、世界の有名美術館所蔵品図録なども充実しています。



『中国陶磁器図録』ホブソン著